

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 新村 結菜 (しんむら ゆいな)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私は初めて、オーストラリアにあるアデレードに行きました。私はホームステイをしたことがなかったので、緊張していました。しかし、日本から発つ前にホストシスターから手紙が届きました。緊張していると思うけど、あなたの家のように過ごしていいですからね、と書いてあり、少し安心しました。両親、ホストファミリー、先生方のおかげでいろいろな経験をし、日本とは違う文化にも触れることができました。

私の心に残っていることは2つあります。

1つ目は、セントラルマーケットを訪れたことです。昔ながらの雰囲気が漂う素敵な場所でした。さまざまな種類のお店があり、日本にはない珍しい食べ物がありました。人々の交流の場の1つとして栄えており、笑顔で満ち溢れていました。このような多くの人々が落ち着くことのできる、交流することのできる場所があることはとても大切なことだと思いました。お店の方々は優しい人ばかりで、試食したいものがあると言えば、いいよと笑顔で答えてくれました。おすすめのを教えてもらったり、他愛もない会話をすることができ、お店の方とお客さんとの距離が近いのもいいことだと思いました。

2つ目はホストファミリーと過ごした休日です。ビーチへ行ったり、ボウリングへ行ったりと様々な場所へ連れて行ってくれました。しかし、一番楽しかったことは、スーパーに買い物をして行ったり、犬の散歩に行ったりと普段の生活を一緒に過ごせたことです。夜は、日本語の字幕のある映画を探してくれました。ミニオンやシュレックなど日本にある映画だけではなく、日本で見たことのない映画も見ました。家でホストシスターと卓球をして盛り上がりました。本当の子供のように接してくれたのでとても幸せでした。驚いたこともありました。それは日本よりも子供が自立しているということです。朝ごはんは自分で用意しており、昼ごはんも自分で用意することがありました。ホストマザーから「朝ごはんは自分の食べたいものを好きに食べていいから。」と言われました。日本人は人の家のものを勝手に開けて食べることは失礼なことだと考えているので、最初は戸惑いましたが、徐々に慣れました。

今回のホームステイで一番学んだことは、間違いを恐れないことの大切さです。たとえ文法や単語がわからなくても、頑張って伝えようとするれば相手も分かろうとしてくれます。これが言いたいのかなと教えてくれることもありました。知らないところで知らない人と過ごすことは、とても緊張しました。しかし、自分の英語がどこまで通じるのか試すことができ、自信をつけることができました。もっと自分の言いたいことが言えるように英語を勉強したいという、意欲向上にもつながりました。優しく、親切的なホストファミリーと過ごすことができとても幸せでした。